

いすみ市地域公共交通会議（第2回）会議録

日 時 平成20年3月12日（水）午後1時30分

場 所 いすみ市役所大原庁舎4階 議員控室

出席委員 丸 嶋 登 浅 野 和 夫 太 田 洋  
佐久間 康 俊 米 本 嘉 雄 花 崎 幸 一  
松 本 眞 渡 邊 忠 星 野 敏 一  
國 藤 清三郎 野 村 泰 信 浅 野 正一郎  
松 本 啓 吉

代理出席 千葉運輸支局 県交通計画課 いすみ鉄道(株)  
県タクシー協会

欠席委員 松 本 正 明

事務局 総 務 部 吉原部長  
企画政策課 中村課長 元吉副主幹 黒須主査 小安主事

丸嶋議長 議題（1）「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」に基づく「地域公共交通活性化・再生総合事業」（仮称：いすみ市地域公共交通活性化事業）についてを議題といたします。

①「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」に基づく法定協議会（仮称：いすみ市地域公共交通活性化協議会）の設立について、②法定協議会規約・法定協議会財務規程・法定協議会事務局規程についてを一括審議といたします。

事務局の説明を求めます。

事務局

（説明）

丸嶋議長 ただいま事務局から法定協議会の設立について説明がありました  
が、ご意見、ご質問などがありましたらお受けしたいと思います。

質問等が無いようですので、議題（１）①、②について賛成であ  
れば挙手をお願いします。

一同 （挙手）

丸嶋議長 それでは、全員賛成ということですので、議題（１）①、②につ  
いては可決されました。

続きまして、議題（１）③連携計画（いすみ市地域公共交通総合連  
携計画の概要）及び総合事業計画（いすみ市地域公共交通活性化事業  
計画）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 （説明）

丸嶋議長 ただいま事務局から議題（１）③について説明がありましたが、質  
問等がありましたらお受けいたします。

質問等無いようでございますので、いすみ市地域公共交通活性化事  
業につきましては、今後はこの計画に沿って進めていくということで、  
ご了解をいただきたいと思います。

つづきまして、議題（２）いすみ市路線バス試行運行の検証につ  
いて事務局の説明を求めます。

事務局 （説明）

丸嶋議長 実際に運行をしている中で、いろいろ問題が出てきているよう  
です。停留所の問題、時間帯の問題等あるとのことですので、事務局のほう  
で協議の上、改正案を提示してもらって、本会議に諮っていただく  
ということよろしいでしょうか。

事務局 バス事業者さんと協議させていただき、市民にとってより良い運行ができるよう検討させていただきます。

丸嶋議長 せっかくのバス運行でございますので、より多くの市民の利便性を図っていただきたいと思えます。

それでは、その他で何かございましたら、ご意見等をお受けいたします。

浅野（和）委員 市内循環線で国道128号線の江場土付近においては利用者がいないと聞いております。三門の信号から旧道を通って江場土の信号に出るというルートの方が利用しやすいとこの地域の方々から意見をいただいておりますのでご報告いたします。

丸嶋議長 では、事務局はこの件についても検討いただくようお願いいたします。

事務局 その件につきましても、関係機関と協議の上、検討してまいりたいと思えます。

太田委員 事務局の言う「より良い運行」とは、路線変更は行わずに、利用が多く見込める路線は増便し、利用しづらく利用者が見込めない路線は、減便又は廃止するという内容でよろしいでしょうか。また、路線の減便、廃止をする地域には乗合タクシーの導入も含めて検討するということでしょうか。

事務局 先程の利用実績で説明した利用の少ない路線について、減便・廃止をするならば、新たな交通手段の確保が必要であります。おっしゃられたとおり、現在、夷隅地域で運行しております乗合タクシー制度が良いことであれば、導入も検討するべきであると思えます。「よりよい運行」とは、市民が「利用できる」、「利用しやすい」というのが

第一条件であることを踏まえ検討してまいりたいと思います。

また、乗合タクシーや福祉タクシーなどいくつかの事業が行われており、どれを利用するか迷う方もいるようですので、市民にわかりやすくするのも今後の課題であり、このことも踏まえて検討し、より良い交通システムができるよう努力してまいりたいと思います。

丸嶋議長

市民にとって利用しやすいものになるようお願いいたします。

では、他になにかございますか。

事務局

具体的な検討案でございますが、利用実績で説明したとおり、夷隅線の柿和田経由便以外の4往復は利用者が少ない現状であり、市内循環線においては、午前中に出て午前中に帰れないという意見を多くいただいておりますので、夷隅線を減便し市内循環線を増便することで、効率のより運行になるのではないかと考えております。

また、布施線についてですが、この試行運行実施前と同様に布施地区から大原市街へ直接行ける路線を復活させることを考えております。岬巡回においては、実証運行期間中は現状のままで様子を見て、その後検証したいと思っております。乗合タクシーの方が良いならば、そちらに移行することもひとつの方法であると思っております。

バスの運行キロの問題、運転手の労働時間等の問題もありますので、バス事業者さんとよく協議をした上で運行系統案を作成し、4月に地域公共交通会議を開催し、委員の皆様にご審議いただきたいと思っております。

実際に運行している都自動車さん、小湊鉄道さんにお伺いしたいのですが、今申し上げた運行系統についてご意見ありますでしょうか。

渡邊委員

私ども都自動車としても、より多くの方にご利用いただいたほうが良いと思っております。先程おっしゃられたとおり、午前中に帰ってきたいというお客様が非常に多いと伺っておりますので、その辺を踏まえ検討したいと思っております。

星野委員

小湊鉄道が運行させていただいているのは、市内循環線、岬巡回、夷隅巡回でございます。市内循環線は1周が1時間15分と時間が掛かるため、半周などといったコンパクトな運行を組み込むなど、可能な範囲でもっと利用しやすいダイヤになるよう模索をしてみたいと考えております。

また、単にダイヤを増やすだけでは利用の促進には繋がりませんので、利用客が目的地においてどのくらい時間がほしいのか細かいところまでよく考えて検証していきたいです。

丸嶋議長

では、他になにかございますか。

長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。

以上で議長を降ろさせていただきます。ありがとうございました。

事務局

以上でいすみ市地域公共交通会議を終了いたします。ご苦勞様でした。